

# 鹿児島湾奥地域における湿地帯保全活動

活動地域 鹿児島県

LOVE BLUE助成  
3年目  
実践

底生生物調査と 鳥類調査	12回
今年度計画の達成度	45%
目標達成度	50%



始良市松原なぎさ小学校6年生と清掃活動

## 苦労した点と工夫した点

### ■苦労した点

新型コロナウイルスの影響で、計画していた大人数でのゴミ拾いイベントや啓発講座、ステークホルダーを集っての室内での懇話会等、実施事業が行えなくなった。

### ■工夫した点

実施には至らなかったが、リモートでの啓発講座や懇話会、規模を縮小しての野外でのイベントを模索した。これらの取組みは今後にかきたい。

## 課題

当該地域は絶滅危惧種の野鳥等の生息場所となっているが、生物と人の暮らしとの距離が近く、清掃活動や住民の情報共有等の早急な保全対策が必要である。

## 目標

錦江湾奥の湿地環境が美しく維持され、希少生物が生息し、地域住民が湾奥湿地環境に誇りを持つことができる。

## 活動内容と成果

- 毎月1回鹿児島湾奥湿地帯周辺において、底生生物と野鳥の調査を行い、湾奥湿地周辺の環境の指標となる、基礎的な生物データを収集した。国内希少野生動物種であるクロツラヘラサギをはじめ、クロツラヘラサギと同所的に生息する様々な野鳥や、その野鳥たちが捕食していると思われる多くの底生生物種の生息を確認した
- 湾奥湿地周辺のステークホルダーと、湾奥湿地帯を取り巻く問題点、取組み等の情報共有を行うことができた



桜島をバックに底生生物調査

## 全助成期間の活動を振り返って

生物調査については、これまで定期的には行えていなかった春季の基礎情報を得ることができ、今後の啓発活動にかすことができる。半面、新型コロナウイルスの影響は甚大で、予定計画していた啓発活動や懇話会事業が実施できず、目標に届かなかった。地道な保全活動は、対面でなければ進めることが難しいと感じた。しかし、助成期間を通して形成できたステークホルダーとの連携を今後もいかして、保全活動を継続していきたい。



底生生物の同定作業

〒899-5652  
鹿児島県始良市平松7703  
電話：0995-67-6042  
E-mail：office@kusunokishizenkan.com  
HP：http://www.kusunokishizenkan.com



## 今後の展望

今後も地域自治体と協働で清掃活動・啓発活動を実施し、湾奥湿地環境の重要性認知度を高めるとともに、主催事業としてパードウォッチングや干潟体験等のエコツアー、出前授業や公民館講座を開催して参加者への普及啓発に取り組み、地域住民が湾奥湿地環境に誇りを持つような取組みを継続していく予定である。